

<保護者用>

病状回復後の際に、下記の登園届（太枠内）の提出をお願いいたします。

（なお、登園のめやすは、お子さまの全身状態が良好であることが基準となります。）

登園届（保護者記入）	
おぐら保育園園長殿	入所児童氏名 _____
病名「 _____ 」	
_____ 年 月 日、医療機関名「 _____ 」	
（医療機関連絡先： _____ ）において病状が回復し、 集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園します。	
保護者名 _____	印又はサイン _____

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。保育園入所児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いいたします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症○ 別表2

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
感染性胃腸炎（ノロ、ロタウイルス等）	症状のある間と、回復後も数週間に渡ってウイルスを排出されることがある。	下痢、嘔吐症状が軽減した後、全身状態がよいこと
マイコプラズマ感染症	症状のある期間（保菌は数週～数か月持続する）飛沫で感染する。	症状が改善し、全身状態がよいこと
インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症	保菌している期間。主に飛沫で感染する。	発熱、咳などの症状が安定し、全身状態がよいこと
伝染性紅斑（リンゴ病）	感染期間はかぜ様症状が出現した時。飛沫感染する。	全身状態がよいこと（発疹期に感染力はない）
急性細気管支炎（RSウイルス感染症）	感染期間は3～8日だが、乳幼児は3～4週間持続することもある。飛沫感染と接触感染する。	発熱、咳などの症状が安定し、全身状態がよいこと。
EBウイルス感染症	ウイルス排出は呼吸器から数か月続き、飛沫感染する。	解熱し、全身状態が回復していること。
単純ヘルペス感染症	水疱内にあるウイルスに接触感染する。発熱や全身性の水疱がある場合は欠席して治療が望ましい。	口唇ヘルペスのみであればマスクをして登園可能。
带状疱疹	潜伏期間は特定できないが、水疱が形成されている期間は感染力がある。接触で水痘として感染する。	全ての発疹が痂皮化していること
手足口病	呼吸器から1～2週間、便からは数週間から数か月間ウイルスが排出される。	全身症状が安定していること
ヘルパンギーナ	呼吸器から1～2週間、便からは数週間から数か月間、ウイルスが排出される。	全身症状が安定していること
A型肝炎	ウイルスは黄疸出現1～2週間前に便中に高濃度排出され、発症1週間程度で感染力は急速に弱まる。	発病初期を過ぎて、肝機能が正常になっていること。
B型肝炎	感染経路はキャリアからの垂直感染、HBVキャリア者の傷口との接触・共用に伴う水平感染。	急性肝炎の急性期でないこと。